

保護者様

愛知教育大学附属名古屋小学校
校長 加藤 兼幸

令和7年度 学校評価のまとめ

学校評価のアンケートへのご協力ありがとうございました。集計ができましたので、結果とそこから読み取れる特徴的なこと（特に太字の数字）についてお知らせいたします。

保護者アンケート集計結果		A : はい → D : いいえ (%)			
	質 問 項 目	A	B	C	D
1	お子様は、学習したことを身に付けていると思いますか。	64.9	28.2	6.1	0.8
2	お子様は、学習することで考える力や考えたことをまとめる力がついてきたと思いますか。	57.7	32.7	8.2	1.3
3	お子様は、学んだことを振り返りながら、進んで学習に取り組んでいると思いますか。	49.2	33.8	14.4	2.7
4	(高) 目的に応じて適切にクロームブックを使っていると思いますか。 (低) クロームブックを正しく使っていると思いますか。	54.5	35.4	6.9	3.2
5	お子様は、服装を正して生活していると思いますか。	56.7	34.3	8.0	1.1
6	お子様は、自分から進んで挨拶をしていると思いますか。	45.2	40.4	12.8	1.6
7	お子様は、公共のモラル（通学マナーを含む）を守っていると思いますか。	58.0	38.0	3.7	0.3
8	お子様は、相手を思いやる気持ちを持ち、学級や学年の仲間と楽しく生活していると思いますか。	64.1	32.7	2.7	0.5
9	お子様は、けがや病気にならないよう、安全に気を付けて生活していると思いますか。	60.4	32.5	6.9	0.3
10	お子様は、困ったり悩んだりしたときに、誰かに相談することができていると思いますか。または、できそうだと思いますか。	48.1	38.6	10.9	2.4
11	学校は、懇談会など、保護者と話をする機会を適切に設けていると思いますか。	76.1	22.3	0.8	0.8
12	学校は、学級PTA、各種通信、ホームページなどを通して、教育活動を分かりやすく保護者に伝えていると思いますか。	70.7	25.5	3.5	0.3

※構成比率は、小教第2位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

多くの項目で、肯定的な回答が80%以上と高い評価をいただきました。

学習面に関わる項目1～4では、概ね高い評価をいただいております。項目1では肯定的な回答が93.1%と非常に高く、学校での学びが着実に身に付いていると多くの保護者が実感しています。一方で、項目3は、A評価が50%を下回っており、C評価も14.4%と他よりも高くなっております。「自ら進んで振り返り、学習に取り組む」という自律的な学習習慣の育成が課題としてあげられます。今後も、基礎的な知識の習得や活用をする中で、進んで自分の考えをもって取り組んだり、学んだことを他の学習場面で生かしたりすることができるように努めていきたいと思っております。

生活に関わる項目5～7・9でも、概ね肯定的な回答が高くなっています。特に項目7の公共のマナーを守ることや項目9の安全意識については、肯定回答が90%以上となっており、規律ある生活が送られていると実感できています。一方、項目6の挨拶については、A評価が45.2%と最も低く、C評価も10%を超過等、課題意識がうかがえます。児童の手本となるべく教職員が率先して声掛けをすることを継続しながら、校外でも挨拶ができるよう児童への定着度を高めていきたいと思っております。

心の面に関わる項目8・10では、項目8の肯定回答は96.8%と極めて高く、子どもたちが仲間と楽しく、安心して学校生活を送っていることが分かります。一方で項目10のA評価が5割を下回っており、相談のしやすさに課題を感じます。今後も、心のアンケートや懇談会等での情報を基に、個別に話をしたり、ご家庭と連絡を取り合ったりしていくことを大切にしながら、「誰にでも相談していいんだ」という安心感の醸成と、SOSを出しやすい環境づくりに努めていきたいと思っております。

学校の取組に関わる項目11、12では、肯定回答が95%以上の非常に高い評価をいただきました。今後も分かりやすい情報発信を心掛けていきます。

児童アンケート集計結果

A：はい→D：いいえ

(%)

質 問 項 目	A	B	C	D
1 学習したことを身に付けることができましたか。	54.2	38.0	5.9	2.0
2 めあてや学習問題について考えたり自分の考えをまとめたりすることができましたか。	47.4	35.2	15.7	1.8
3 学んだことを振り返りながら進んで学習に取り組むことができましたか。	47.8	38.0	12.5	1.8
4 (低) クロームブックを正しく使うことができましたか。 (高) 目的に応じて適切にクロームブックを使うことができましたか。	81.4	14.1	3.7	0.8
5 服装を正すことができましたか。	69.9	20.6	7.6	2.0
6 自分から進んで挨拶をすることができましたか。	66.5	24.3	6.9	2.4
7 公共のモラル（通学マナーを含む）を守ることができましたか。	56.2	34.1	8.6	1.2
8 相手を思いやり、仲間と楽しく過ごすことができましたか。	66.0	28.0	4.9	1.2
9 安全に気を付けて生活することができましたか。	65.8	27.2	5.1	2.0
10 困ったり悩んだりしたときに、相談することができましたか。 (困ったり悩んだりすることがなかった場合は、) もし困ったときに相談することができですか。	53.6	26.2	11.6	8.6

※構成比率は、小教第2位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

7項目で肯定的な回答が90%以上という結果で、子どもたちの自己評価が高いことが分かります。

学習に関わる項目1～4では、基礎的な知識の定着について、多くの子どもたちが手応えを感じています。一方で、「自分の考えをまとめる」「振り返りを行う」といった思考の深まりについては、他項目に比べ「C（あまりできなかった）」の割合が12～15%程度と高い数値が見られます。今年度はアンケートの10の項目を「さわやか附小っ子カード」とリンクさせ、毎月自己評価を行ってきたことや、評価基準を明確に示したことから、例年以上にしっかりと自己分析を行うことができたためと考えます。今後は、単に「わかった」で終わらせず、自分の考えを言語化し、学びを繋げる力を育むとともに、児童が自信をもって学習に取り組んでいけるよう努めてまいります。さらに、クロームブックの適切な使用については肯定回答が際立っており、学年や発達段階に応じてデジタルツールを学びの道具として使いこなす姿が見られます。しかし、一部適切に使えなかったと捉える児童もおり、大きなトラブルに発展しないように、情報機器の適切な取り扱いについて継続して全体に伝えていきたいと思ひます。

生活面に関わる項目5～7・9では、90%以上の児童が肯定的に捉えております。気持ちよく元気に挨拶をしたり、外で元気に遊んだりする児童が大勢います。一方、公共のマナーについては、A評価が他の項目に比べると少し低く、子どもたち自身も改善の余地があると感じている項目だと考えます。周りの迷惑にならないよう意識をしつつも、大勢になると気が緩み、声の大きさや歩き方等、マナーに欠ける行いをしてしまう場面もあると反省の声も聞かれます。今後も、公共の場での過ごし方について児童の意識を高めながらよりよい行動ができるように、指導をしていきたいと思ひます。

心の面に関する項目8・10については、項目8を見ると、楽しく過ごすことができている児童の割合が90%以上と非常に高くなっています。しかし、項目10から、「困ったときに相談できるか」という問いに対しては約8割が肯定的に回答している一方で、C評価が10%を超え、D評価は全項目で最も高い8.6%を付けています。悩みがあっても「自分からは言い出せない」と感じている子が一定数存在することが分かります。定期的な教育相談や日々の声掛けをより意識し、教師と児童、児童同士のより良い関係づくりができるように、今後も温かい雰囲気づくりに努めていきたいと思ひます。